

青梅のにじ

(発行)

日本基督教団 隠退教職ホーム
にじのいえ信愛荘
運営委員長 成松三千子

〒198-0052 東京都青梅市長淵2-687
電話:0428-22-2283 FAX:0428-22-2317
Eメール:nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

振替口座番号00120-3-358467

加入者名: にじのいえ信愛荘

平和を得るため



日本基督教団西東京教区総会議長

狛江教会牧師

岩田 昌路

『青梅のにじ』は、第25号の発行に至りました。隠退教師とその配偶者の皆様が日々主の平和のうちに安心してお過ごしになれるように、全国各地から祈りと奉仕と献金がささげられてきました。深い感謝を覚えます。「にじのいえ信愛荘」の働きを支えることは、最も教会らしい愛のわざであると思います。今から27年前、私が伝道者に導かれて3年目の春のことでした。私は千葉県館山の「にじのいえ」に初めて訪問する機会があったえられました。ある有志運動の「春の青年修養会」の会場となったことによりです。婦人隠退教職の皆様とお食事を共にすることができました。凜とした雰囲気の中に私たちの自己紹介にじつと耳を傾けて下さった先生方の表情は印象的でした。私は隠退教師のためのホームの存在と働きを初めて心に刻みましました。

私は初任地の別府不老町教会(九州教区)で10年を過ごしたのち、2005年4月に現在の狛江教会(西東京教区)に転任しました。やがて「にじのいえ」と「信愛荘」の合併の出来事を間近に目撃しました。その後、教会として訪問させて頂く機会、礼拝の説教者としてご奉仕させて頂く機会が与えられました。「にじのいえ信愛荘」に生活されている隠退教師とその配偶者の皆様の存在を想起する時、次の聖句が示されました。「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」(ヨハネによる福音書16章33節)

神が共におられることによって実現する平和(シヤローム)のことです。主イエスは「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。」(同14章27節)と言われ、また、主イエスは復活された後に、弟子たちに「あなたがたに平和があるように」(同20章19節・21節、26節)と挨拶をされました。「にじのいえ信愛荘」に形成される群れも主イエスの平和に生きる群れです。この平和は世における平穩無事を意味しません。主イエスが「あなたがたは世で苦難がある」と語っておられるからです。「にじのいえ信愛荘」におられる隠退教師と配偶者の皆様も世で苦難があることを伝道・牧会の日々において深く味わってこられました。だからこそ「しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」という主イエスの勝利宣言の確かさを深く知っておられるのだと思います。御言葉に仕え、教会の底辺に立ち続ける者こそ、主イエスに真実に出会うのです。「にじのいえ信愛荘」の働きを支援するすべての皆様にも、主の平和が満ち溢れますようお祈りいたします。

●イースター礼拝 2024年3月21日

心が燃える経験



東京女子大学

現代教養学部
人文学科教授

佐野 正子



イースターおめでとうござい
ます。春は木々が一斉に芽吹き、
色とりどりの花々が咲き始め、
キリストが死に打ち勝ち霊のか
らだよみがえられたことをお
祝いするイースターに最もふさ
わしい季節ですね。聖書には、
キリストが復活された日の午後
エルサレムからエマオという村
へ向かっていたふたりの弟子た
ちに、「イエスご自身が近づいて
きて、一緒に歩き始められた」
という印象深い出来事が記され
ています。しかし悲しみと失望
で心がいっぱいであった弟子た
ちはそのお方が主イエスである
ことに気づくことができません
でした。

トについて記されている事柄を
説き明かしてくださったこと
により、弟子たちは後から振
り返って、「道で話しておられ
るとき、また聖書を説明してく
ださったとき、わたしたちの心は
燃えていたではないか」と思い
起こしています。「心が燃える経
験」、このことが復活のキリス
トに出会った者たちの経験するこ
とだと聖書は告げています。
復活のキリストに出会うこと
によって、弟子たちの悲しみと
失望は、喜びと希望に変わりま
した。キリストご自身が生前な
さっていたように、パンをさき
祝福して弟子たちに渡しておら
れる時、弟子たちの閉ざされて
いた心の目が開けて、そのお方
がキリストであることが分かっ
たと記されています。キリスト
の十字架の出来事から逃げるよ

うにしてエルサレムからエマオ
に向かっていたその弟子たちは、
キリストにお会いし喜びにあふ
れて再びすぐにエルサレムに戻
ります。エマオからエルサレム
へという弟子たちの方向転換は、
彼らの心にも大きな転換が起
こったことを示しています。キ
リストによって心に火がともさ
れ、「心が燃える経験」をするこ
とによって、弟子たちの生きか
たが新しく生まれ変わったので
す。キリストがよみがえられた
というこの喜びから教会が生ま
れました。

私たちの魂も日々新たにされ
ています。肉体は衰えていくと
しても霊的な命を宿した内なる
からだは日々新たにされていき
ます。私たちの人生の旅路は、
目に見えなくても霊的なみから
だをもったキリストが常に私た
ちと共に歩んでくださり、支え
導いてくださっています。皆さ
まがイースターの喜びにあふれ、
聖霊によって内側から変えられ
日々新たにされて、心が燃える
経験を重ねていくことができま
すように、神さまの恵みと祝福
をお祈りしています。

(西東京教区教務教師)





飛田悦子師
2023年10月2日召天

先生、
誠に有難うございました

運営委員 成松三千子

飛田悦子先生は、2010年6月に合併された「にじのいえ信愛荘」に、はるばる千葉県館山の「にじのいえ」から転居された新荘員（5名）の中のお一人で、88歳の時でした。

先生は1988年4月に最後の新見教会（岡山県）を隠退され66歳で「にじのいえ」にご入居されました。当時まだ社会福祉制度が充実していない時代で入居者の年齢も60歳代が多かった頃でした。ここでの22年間に ついては、直接先生から伺っておりませんが、早朝には雑草取りを黙々とされ、花壇の手入れを楽しみ、また、「にじのいえ」が宣教の場として始めた「土曜子ども聖書会」では、子どもたち積極的に声をかけ、この活動に熱心に協力されておられたそうです。

青梅での新しいご生活にもすぐ馴染まれたご様子で、荘に伺うと、先生は茶目つ気たつぷりの笑顔で話しかけてくださいました。

この「青梅のにじ」の編集部として、ご入荘者に原稿のご協力をお願いしたところ、先生は「いいわよ」と即答され、結局8号、10号、12号にご執筆ください、私たち編集部はどれほど助けられたことでしょう。先生は牧者として発信なざりたいメッセージが、ふつふつと沸いてこられたようでした。

ところが残念なことにご高齢のため次第に荘での自立したご生活が困難になられたようで、僅か5年程、93歳でご退荘され、2015年11月に千葉在住の甥の飛田茂樹さん宅に近い特老ホームに入所されました。

ご転居先で車椅子生活となられた先生のご体調は安定されておられ、一度私たちが訪問させていただいた時も、先生は笑顔で迎えてくださいました。しかし昨年突然、甥御さんから先生が2023年10月2日一〇一歳で安らかに天に召されとの御報をいただいたのでした。

（東京・柿ノ木坂教会員）



池田貞子師
2023年11月9日召天

出会いに感謝して

生活主任 三浦恵美子

主の前に最善を尽くし歩まれた94年、これが私の先生への思いです。私と先生との出会いは私が2013年1月「にじのいえ信愛荘」に着任した日から始まりました。

思いがけないことに、先生の最終任地であった「いずみ愛泉教会」の附属幼稚園に、私が副園長として閉園に関わったことをお知りになり、先生はとても喜んでくださいました。

先生がよく話されていたことは、18歳の時に会津若松の飯盛山（白虎隊）に流れ込む小川でお母様と一緒に洗礼を受けられたこと、90歳を過ぎて「気持ちいいつも18歳」ということでした。このことは信仰と伝道への篤い思いは時を経て少しも変わらないということではないでしょうか。1956年日本聖書神学校卒業後、西荻教会、浜

松教会、そして、いずみ愛泉教会（当時は仙台愛泉教会将藍集会所）には1975年4月〜93年3月まで牧師としてその責任を果たされました。

先生は礼拝への凜とした厳しい姿勢をお持ちでしたが、反面、主日礼拝にご奉仕くださる牧師先生方には必ずお土産を用意され、先生方への敬意と感謝をお示しでした。また、様々な心遣いや配慮、愛情があり、特に仙台での教会では多くの若い学生たちが信仰へ導かれ、その交流は亡くなられるまで続きました。

「キリスト新聞」誌に1960年10月に2回に分けて信仰の歩みを投稿（高校聖研で求道・確信に満ちた旅立ち・『僧侶の子、召されて伝道師に』①②）と題して文章を残されています。

2004年10月「信愛荘」へ入荘、約20年近い荘での生活でした。主日礼拝の準備や席上献金会計の責任、朝礼拝への思い等ご自分の考えをしっかりと持ちの先生でした。

94年のご生涯を主にお返しされた先生の、主にある御祝福を祈りつつ、池田先生との出会いを心より感謝いたします。

（東北・仙台五橋教会員）

「お茶の会」改め『樂喜会』

単立馬橋キリスト教会員

谷 二郎

「光は快く、太陽を見るのは楽しい。長生きし、喜びに満ちているときにも…」(コヘレト11:7・8)

「お茶の会」は2003年から始まり、新型コロナ流行まで毎月行われてきました。荘の方とお茶を飲みながら、信仰や牧会などの有意義なお話を聞かせていただきました。

手作りのお菓子とお抹茶や紅茶で寛ぎ、讃美歌を歌い、クイズ等で楽しい時を持ちました。

コロナ禍で3年余り中断しました。23年9月に再開しましたが、皆様の健康を考慮し、集まって会話することは避け、出し物を楽しんでいただくように考えております。茶菓子が無い「お茶の会」では変なので、『樂喜会』



手品を披露中の谷二郎氏

(ラッキー会)にしました。これは「LUCKY」以上に、聖書に基づいているのです。

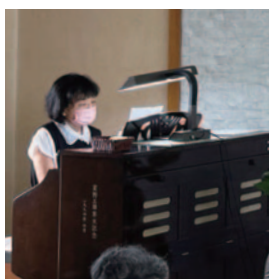
お喜樂に、楽しみ喜んでいただきたいと願っています。

『主に贖われた人々は帰って来る。とこしえの喜びを先頭に立てて喜び歌いつつシオンに帰り着く。喜びと楽しみが彼らを迎え、嘆きと悲しみは逃げ去る。』

(イザヤ35:10)

にじのいえ信愛荘主日 礼拝での奏楽奉仕の喜び

運営委員 山口 玲子



「主日礼拝の奏楽者が不足のためヒムプレイヤーの使用を検討中」：昨年5月の運営委員会で大野施設長からこの報告を聞き、もし私でお役に立てるなら！と思わず申し出たことからこのご奉仕が始まりました。

面識もない私が礼拝に伺って

良いのだろうか？どのようなオルガンかしら？いろいろな不安の中、事前の打合わせに伺った際、荘員の奏楽者の方がご自身で心がけている点等を書いたメモをくださったり、三浦生活主任からも親切に荘の奏楽のやり方を教えていただき、大変感謝でした。

所属教会との兼ね合いから2ヶ月に1回程度のご奉仕ですが、整えられた荘の礼拝堂において温かな音色のリードオルガンで奏楽させていただき、敬愛する荘の皆さまと共に賛美を捧げる喜びをいただいています。そして毎回荘員の皆さまが笑顔でご挨拶くださり、先生方のメッセージに共に与る恵みを与えられ感謝です。朝、祈りつつ自宅から荘に向かう約1時間の運転が短く感じられます。これからも主に用いていただけますように心から願います。

(西東京・八王子栄光教会員)

職員紹介

初めまして！



事務長

中本 祐子

この度、思いがけず事務長を

仰せつかりました、中本祐子と申します。日本基督教団境南教会の教会員です。西東京教区の社会保険を担当しています。

4人娘の母。末娘が今春社会人になりました。迎え入れた保護猫も期せずして2匹とも雌でした。

生まれ、育ちは東京ですが、父の転勤で高校1年から大学1年まで米国ワシントン市近郊で過ごしました。結婚後は夫の転勤に伴い、室蘭、大分、名古屋、シンガポールに暮らしました。

本を読むこと、歌うことが大好きで、オラトリオ合唱団に所属しています。また、海外アーティストのコンサートに行ったり、小学校時代を過ごした懐かしの神宮に野球観戦に行ったり、韓国語の勉強を始めたりと自由な時間も漸く持てるようになりました。

41歳の誕生日に受洗しました。クリスチャンとしてはまだまだ若輩者ですが、にじのいえ信愛荘のことをたくさんの方に知っていただき、入荘者の皆様や職員の方々に安心して過ごしていただけるよう、心を尽くして仕えて参りたいと思います。どうぞよろしく願います。

(西東京・境南教会員)

莊日記



施設長 大野 裕昭

チャリティイコンサート
於青山学院

23日(月)A棟スチーム暖房開始
30日(月)誕生会・相談会
31日(火)庭木剪定(相愛教会有志)

●2023年8月
1日(火)元荘員石坂大姉召天、4日
葬儀

給湯パイプ修理

10日(木)スタッフ会
23日(水)井上医院来診・A棟エレ
ベーター点検

24日(木)運営委員会
28日(月)相談会

31日(木)B棟エレベーター点検

●2023年9月

5日(火)お茶の会
6日(水)食堂ワックスがけ
10日(日)秋季墓前礼拝(小平霊園)
14日(木)スタッフ会

20日(水)井上医院来診

21日(木)業務用車輛車検

25日(月)誕生会・相談会

26日(火)避難訓練(土砂災害想定)

28日(木)地下灯油タンク調査

●2023年10月

2日(月)元荘員飛田悦子師召天、10
日葬儀
5日(木)厨房浄化槽清掃

6日(金)全国教会婦人会連合来荘

10日(火)コロナワクチン接種7回目

12日(木)スタッフ会

17日(火)お話し会の会(井草教会)

18日(水)井上医院来診

21日(土)ボイラー点検

6日(月)インフルエンザワクチン
接種、17日27日 計3回
7日(火)二宮めぐみ師体験入荘
8日(水)青梅市長選挙期日前投票
9日(木)元荘員池田貞子師召天、15
日葬儀

スタッフ会

13日(月)遠足(御岳山)

15日(水)井上医院来診

22日(水)運営委員会

24日(金)口腔ケア講習

27日(月)誕生会・相談会

●2023年12月

5日(火)お話し会の会(井草教会)

11日(月)相談会

13日(水)井上医院来診・庭木手入れ

14日(木)スタッフ会

18日(月)青梅幼稚園キャロリング

20日(水)ボイラー漏水修理

22日(金)マンホール修理

24日(日)クリスマス礼拝

26日(火)クリスマス祝会

●2024年1月

9日(火)お茶の会、厨房浄化槽清掃

11日(木)スタッフ会

13日(土)熊本絹江師体験入荘

18日(木)故池田貞子師納骨式(浜松
教会、軽自動車車検

29日(月)相談会

●2024年2月

7日(水)A棟エレベーター点検
レジオネラ菌検査

8日(木)スタッフ会

16日(金)鈴木正三師退荘、白寿苑へ
予算検討会(財務委員会)

21日(水)井上医院来診、
B棟エレベーター点検

22日(木)運営委員会、
お話し会の会(井草教会)

27日(火)誕生会・相談会

●2024年3月

5日(火)お茶の会(ハーブ演奏)

14日(木)スタッフ会

熊本師入荘面談

21日(木)火災避難訓練

22日(金)食堂席替(荘員)

25日(月)誕生会・相談会

27日(水)井上医院来診

●2024年4月

3日(水)AED設置

4日(木)中本祐子氏面談・事務引継

9日(火)厨房浄化槽清掃

11日(木)スタッフ会

12日(金)春季お花見

21日(日)春季墓前礼拝(小平霊園)

24日(水)井上医院来診

30日(火)誕生会・相談会

●2024年5月

7日(火)お茶の会(賛美フラダンス)

9日(木)金井和子姉入院先で召天、
16日葬儀

スタッフ会

14日(火)会計監査

20日(月)青梅幼稚園来荘(花の日)

22日(水)A棟エレベーター点検
井上医院来診

23日(木)運営委員会

27日(月)誕生会・相談会

●2024年6月

4日(火)お話し会の会(井草教会)

20日(木)井上医院来診

24日(月)誕生会・相談会

26日(水)都知事選挙期日前投票

27日(木)スタッフ会

28日(金)田中麻里子事務長退職

●2024年7月

8日(月)A棟ボイラー修理

17日(水)井上医院来診

18日(木)スタッフ会

29日(月)誕生会・相談会

○荘の主日礼拝の場所が、2023年4月より礼拝堂での対面礼拝に戻りました。
また、諸教会や各会の方々との
お交わりの機会も増え、感謝
です。
ご入荘に関心のある方は、ご
見学、ご訪問や「体験入荘」も
できますので、ご連絡を心より
お待ちしております。
尚、2023年度にはお二人
が体験入荘されました。
これからも皆さまの変わらぬ
ご支援とご協力をよろしくお願
いたします。

予告 チャリティコンサート

にじのいえ信愛荘チャリティコンサートお支えくださりありがとうございます。昨年10月21日、青山学院大学ハンドベル・クワイアによるコンサートは、コロナ感染防止を徹底し挙行しました。入場者数442名、収益約150万円となり感謝でした。



二〇二四年の予告

日時 11月16日(土) 午後2時
場所 日本基督教団霊南坂教会
出演 関西学院大学グリー
クラブOB 新月会
チケット代金 2000円
主催 にじのいえ信愛荘
運営委員会
協力 全国教会婦人会連合
お問い合わせ

募金委員会 西村佳子
☎03-3809-2130

入荘のご案内

豊かな緑に囲まれた青梅の地に「にじのいえ信愛荘」は、14年目を迎えました。

み言葉の伝道と牧会に生涯を捧げて来られた隠退教師とお連れ合いの皆さまが、祈りに満ちた日々をお過ごしです。

毎朝の礼拝とお食事は共にされ、散策、ガーデニング、お部屋での読書等は各自、自由な時間を楽しんでおられます。

困難なコロナ禍の時を経て、従来の教区、支区、教会等からの訪問、交流の良い時間も徐々に戻ってまいりました。

また、お花見など、荘員、職員共に青梅の自然を楽しむ行事も行っております。

「にじのいえ信愛荘」は自立型の施設のため、ご入荘の際、自立基準の判定があります。是非早い段階でのご相談をお勧めいたします。

基準荘費(部屋代・食費等)

A棟 一人6万5千円
B棟 一人7万円

右の基準荘費に見合う基準収入を定め、収入に応じて荘費を増減する制度をとっています。

維持献金と

クリスマス献金のお願い

「にじのいえ信愛荘」のため、皆様のご理解と温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年11月にはチャリティコンサートも開催し、漸く荘の日常が戻ってきました。

今年度維持献金の目標は2600万円です。全国の教会と皆様のご支援を願っています。

また、今回も「青梅のにじ」は年1回の発行のため早い時期のお願いですが、クリスマス献金も心よりご協力をお願いいたします。

☆事務局には振替用紙と専用の献金袋(個人)の用意があります。ご利用の上、教会ですとめてご送金ください。

☆献金報告をお届けいたします。献金額等ご不審点がありましたら、事務局までご連絡ください。

振替口座番号

00120・3・358467
加入者 にじのいえ信愛荘

☎0428(22) 2283
☎0428(22) 2317

Eメール

nijinoiesinaiiso@wish.ocn.ne.jp

あしがき

事務局から

入荘案内パンフレットを新しく作成しました。また振替用紙、維持献金の専用封筒(個人用)なども用意しています。事務局までご請求くだされば必要部数をお送りいたします。

献金報告の中で、ご召天、転居、転会等変更や献金額等に不備な点がございましたら上記までお知らせください。

編集後記

第25号を、全国の教会、関連学校、お支えくださる皆様にお届けできる幸いを心から感謝申しあげます。本号では緑豊かな青梅線沿線の紹介も掲載しました。ご入荘者が与えられますようにお祈りください。

編集委員会

(尾野明子)

長・尾野 明子(王子教会)

黒沢 咲子(九段教会)

阪口 和美(水戸教会)

鈴木 功男(目白教会)

成松三千子(榎ノ木坂教会)

渡邊義彦(榎ノ木坂教会)

印刷 シヤローム印刷